

卒業を迎えて

2年生代表

春の暖かな日差しを感じはじめた3月、私たち第44期生6名は国立療養所長島愛生園附属看護学校を卒業します。

入学後、准看護課程の学習を基礎により深く看護を学習しましたが、この2年間は、決して簡単なものではなく、眠れない日々や正解の見えない看護に悩み、幾度となく逃げ出したくなりました。しかし、同じ夢に向かって進む仲間や様々な方々のご支援により乗り越え、無事に卒業を迎えることができました。

統合実習では、人の命を支える重大さと対象理解の重要性について学ぶことができました。複数の患者様を受け持ち、何を優先的に行えばよいのかのような看護ができるのか悩み、このまま看護師になれるのだろうかと落ち込みました。しかし、クラスの仲間と相談しあい、教官や実習指導者の方々に助言をいただくことで、自分の目指す看護を明確にすることができました。



4月からは、いよいよ看護師としての一步を踏み出します。看護師として臨床にでると、これまで以上にづらいことや厳しい現実に向き合うことになるかもしれません。そのようなときは、これまでたくさんの方々のご支援があったことを忘れず、自分が理想とする看護師になりたいと思います。

そして、この長島愛生園附属看護学校では、人権の尊重、命の大切さなど改めて学ぶことができたため、これまで学んだことを糧に頑張っていきます。